

外国為替取引におけるリコンサイル業務支援

Financial Reconcile System (ver3.0)

Financial Reconcile System (FRS) は、外国為替取引に伴って発生する対外的な資金決済の照合と確認をするリコンサイル業務に特化した業務支援パッケージソフトです。海外他店預け口座における残高相違や受払取引の正当性を自動的に監視し、早期事故に対応できるように視覚的な設計がされています。

新バージョンでは、最新の Windows10 に対応すると同時に、運用の自動化を実現できるようになりました。また、照査・照合作業効率アップのための画面操作や、より細かい管理資料の作成ができるよう機能改善が加えられています。

一步進んだ日本語による簡単でシンプルな新しいFRSを是非ご検討ください。

○ Financial Reconcile System (ver3.0) の特徴

1. 運用の自動化

スケジューラ機能により、FRSサーバで受信した他システムデータ（リコンサイル用データ）が自動で取込・照合されます。日々の取込処理や日次バッチ操作を意識する必要がないため、現業部門での運用がよりシンプルになりました。

2. 口座残高の整合性監視

日々取り込まれる口座残高の連続性や*リコンサイル残高による金額相違を監視し、不整合発生時に警告を行います。

3. 明細照合時の操作性向上

明細の照合キー（Ref・日付範囲・金額）を使ってのn:nの自動照合や、類似明細の候補照合に加え、操作する口座の優先順位を指定しやすいうように一覧画面で並び替えが指定できるようになりました。

4. 締日によるバランスシート作成

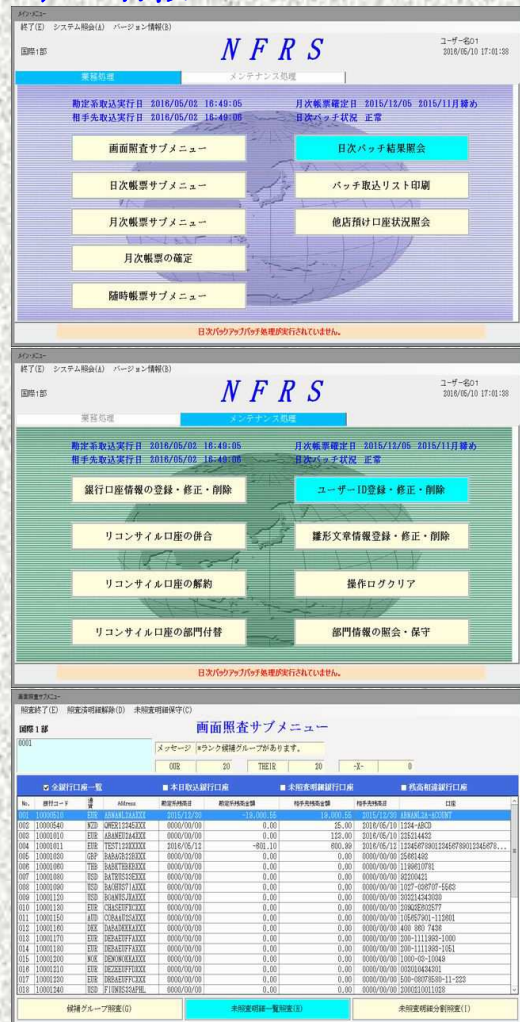
営業日に依存しない締日判定をおこなうことで、現在の照合処理をしながら前月分の管理帳票を作成することができます。

5. セキュリティの強化

ユーザー別権限により操作制限を強化し、さらに操作履歴の保存等によりセキュリティ面での機能を強化しました。

* リコンサイル残高

日々取り込まれる勘定系やステートメントの実残高ではなく、FRSで未照合の取引明細を加味して計算された仮の残高です。



Microsoft SQL Server 2012/Windows 8、10 対応



二種類の取込標準フォーマット
勘定系固定フォーマット
SWIFT/MT950 フォーマット

二種類の取込標準フォーマット
SWIFT/MT950 フォーマット
SWIFT/MT940 フォーマット

システムセンター



スケジューラによるバッチ処理の自動化(データ取込→自動照合→バックアップ)
※夜間での日次バッチ処理を自動化することが可能です。

ユーザー部門



SAS銀行 日次バッチ結果照会

実行日時	実行ユーザ	処理内容	処理結果
2009/02/21 12:04:00	BankAdmin	日次バッチ処理	成功
2009/02/21 12:04:00	BankAdmin	他店預け口座残高・受払明細	成功
2009/02/21 12:04:00	BankAdmin	ステートメント (MT950/940)	成功

クライアントからサーバの日次バッチ処理結果を照会

業務処理メニュー

1. 日次バッチ処理	2. 口座状況照会
3. 残高整合性監視	4. 口座バランスシート
5. 候補ランクと明細照合	6. 業務終了

他店預け口座状況照会

口座番号	残高	残高整合性	備考
00000001	100,000.00	OK	
00000002	50,000.00	OK	

RECONCILIATION SHEET

項目	金額	項目	金額
当行残高	100,000.00	他行残高	100,000.00
調整項目	0.00	調整項目	0.00
最終残高	100,000.00	最終残高	100,000.00

候補ランクと明細照合
(金額によるシミュレーション機能)

口座状況と残高整合一覧
(残高整合性監視機能)

口座バランスシート
(締処理による月次管理票)

問合せ先：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-2 9-1 6
エスエーエス株式会社
TEL 03(3982)9100 FAX 03(3982)7319